

令和6年度 シラバス

科目名	単位数 (時間数)	学科・学年	担当者氏名 (実務経験)
美容技術理論	5単位 (150時間)	美容科・1学年2学年	別紙
学習目標			授業の方法
<p>技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度や習慣を養い、工夫と創造の能力を身に付けさせる。美容業務を安全かつ効果的に行うため、美容器具の科学的知識と正しい取り扱いの方法と基礎的技術とを作業の実際に即して指導し、習熟させる。</p> <p>優れた技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを知らせる。</p>			講義
成績の評価方法			
定期考査 (60点以上を合格とする)			
教科書		副読本	
美容技術理論 1.2 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)			

学習指導年間計画 (授業計画)

【1年時】

項目・内容	時間数
序章 美容技術理論を学ぶにあたって	2
第1章 美容用具	5
第2章 シャンプーイング サイドシャンプー	10
第3章 ヘアデザイン	5
第4章 ヘアカットイング	10
第5章 パーマネントウェービング	10
第6章 ヘアセットイング	10
第7章 カラーリング	8
第8章 エステティック	7
第9章 ネイル技術	7
第10章 メイクアップ ナチュラルメイク・眉修正	8
第10章 メイクアップ まつ毛エクステンション	7
第11章 日本髪	5
その他	5

【2年時】

項目・内容	時間数
第2章 シャンプーイング バックシャンプー	5
第4章 ヘアカットイング	15
第5章 パーマネントウェービング ワインディング	10
第6章 ヘアセットイング オールウェーブセットイング	10
第7章 カラーリング	5
第11章 日本髪	8
第12章 着付けの理論と技術	8
その他	5

令和6年度 シラバス

科目名	単位数 (時間数)	学科・学年	担当者氏名 (実務経験)
美容実習	30 単位 (900 時間)	美容科・1 学年 2 学年	別紙
学 習 目 標			授業の方法
美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させる。 衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒など適切な実施方法を身に付けさせる。 個々のお客様の要望に応じた技術を確実に提供できるように、総合的な技術の基礎を身に付けさせる。			実習
成 績 の 評 価 方 法			
定期考査 (70 点以上を合格とする)			
教 科 書		副 読 本	
美容技術理論 1.2 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)			

学習指導年間計画 (授業計画)

【1 年時】

項目・内容	時間数
第2章 シャンプーイング サイドシャンプー	80
第4章 ヘアカットイング トレーニング	40
第4章 ヘアカットイング ワンレングスカット	20
第5章 パーマネントウェービング ワインディング	260
第6章 ヘアセッティング ブロースタイリング	10
第6章 ヘアセッティング アップスタイル	10
第7章 ヘアカラーリング	10
第8章 エステティック	10
第9章 ネイル技術	40
第10章 メイクアップ ナチュラルメイク・眉修正	25
第10章 メイクアップ まつ毛エクステンション	26
その他	30

【2 年時】

項目・内容	時間数
第2章 シャンプーイング サイドシャンプー	20
第2章 シャンプーイング バックシャンプー	50
第4章 ヘアカットイング	100
第5章 パーマネントウェービング ワインディング	20
第6章 ヘアセッティング オールウェーブセッティング	155
第7章 ヘアカラーリング	30
第11章 日本髪	12
第12章 着付けの理論と技術	12
その他	30

## 別紙

科目	氏名	実務経験
美容技術理論および実習	中釜 志保美	S61～H10 美容室勤務
	佐々木 里江	H10～H14 美容室勤務
	相澤 美和子	H4～H18 美容室勤務
	土井口 昭	H5～H15 美容室勤務
	和泉 尚子	H8～H16 美容室勤務
	鈴木 啓子	H8～H17 美容室勤務
	大黒谷 富美子	H13～H16 美容室勤務
	早坂 将	H14～H24 美容室勤務
	菅野 裕貴美	H19～H28 美容室勤務
	相澤 敏江	H15～H29 美容室勤務
	高橋 新奈	H25～H29 美容室勤務
	太田 大志	H17～R4 美容室勤務